



表紙写真の説明

揖斐郡一の古社

養基神社

田中宇野中にあり、祭神は市杵島姫命である。

由緒、延喜式神明式によれば美濃国三九座中池田郡一座(小)養基神社(美濃明細記)

美濃神明記に従五位下八岐明神とあり、続日本後記に嘉祥二(八四九)年七月癸酉美濃国池田郡養基神預(宮社)緑有(靈験)也と記養される揖斐郡一の古社である。

天正年中(一六世紀後半)織田信長の兵火にかかり炎上したが、後年再建、大正三(一九一四)年以降、春日神社、稻荷神社、八幡神社を遷座合祀する。(池田町史通史編より)

左写真の鬼瓦は、当神社の拝殿を77年間風雪に耐え、守護されたと、氏子一同より感謝され、保存されている。(大正13年〜平成13年)



平成18年度の議会だよりの表紙の写真は、伸びゆく池田のまちづくりの施策の中に、「温故知新」の謂われが活かされることを願い、各地区の代表的な題材を掲載させていただきました。

編

集

後

記

平成19年の正月は、殊の外穏やかな、暖かい日々

恵まれ、町民各位には、善き新春をお迎えになった事と拝察致しお慶びを申し上げます。

「光陰矢の如し」と言われ、巡る月日の早さに広報委員一同、今更のように驚いています。私達の拙い議会広報も、実は、委員各々の思い入れがあり、取り組んできたつもりですが、その思いの一つでも町民の皆様

伝われば幸いです。ご愛読に深く感謝致します。

さて、池田町の今後4年間の町政を再度担うべく、岡崎和夫氏が立候補し、無投票で再任されました。町民各位は、厳しいこの時代の「池田町」の舵取りを、岡崎和夫氏の手堅い行政手腕に託されたのではないかと思います。

今後に期待をこめ「ご当選おめでとう」と申し上げます。

2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油墨で印刷しています。